

コミュニケーションする力や学ぶ力を育てるために、目標・学習内容・評価が一体となった指導計画を基にした英語活動の事例

学校名：瑞穂市立生津小学校
 実施状況： 全学年において年間 35 時間の英語活動を実施
 毎日 10 分間の全校英語活動を実施（英語担当教員による全校テレビ放送）
 指導体制：学級担任とALT、英語担当教員によるTTで指導
 その他：文部科学省指定研究開発学校（H6～H8）

(1) 学校の教育目標

「なかまと まごころこめて すすんで やりぬく子」

合い言葉は「まごころ磨き」・・・こころ磨き、学び磨き、健康磨きの3本柱

(2) 英語活動を通して目指す姿

児童の姿のとらえ
 ・英語学習活動の導入で、人に臆することなく、進んでコミュニケーションを楽しむ児童が多い。
 ・課題解決に当たって、新しいことには興味・関心を持ち、進んで調べ、問題を解決していこうとする自主性が育ってきている。

英語活動に期待する役割
 ・異なる考えをもつ他者と、言葉を通して理解し合うことを体験する。
 ・魅力ある題材で活動を展開し、学習に対して意欲的に取り組む姿を育てる。



英語活動を通して実現を願う児童の姿
 学習内容に関心を持ち、楽しく進んでコミュニケーションしようとする姿。
 相手の気持ちを考えながら、誰とでも共に学ぼうとする姿。
 自分の伝えたいことを場面や状況に応じて工夫して表現する姿。
 相手の伝えたいことを理解し、適切に応える姿。

(3) 指導の観点と目指す姿（第4学年の第3学期）

簡単な英語で楽しい活動をしなが、聞いたり話したりするやりとりを楽しむ。			
自ら学ぼうとする意欲・態度	共に学ぼうとする意欲・態度	表現する力	理解する力
英語の表現に関心を持ち、楽しく進んでコミュニケーション活動に参加する。	誰にでも積極的に接し、相手のことを理解しようとする。	簡単な英語の表現を使って、身の回りのことや自分の思いを表現する。	場面に応じた英語を聞いて理解し、簡単な英語を用いて適切に応じる。
・間違いをおそれずに自	・できるだけ多くの子	・身近な英語を聞き、真	・英語の音の違いを気に

分の伝えたいことを英語で表現しようとする。 ・よく理解できないときには、積極的に聞き返そうとする。 ・自分から進んで話しかけようとする。	と活動しようとする。 ・相手の伝えたいことを分かってもらう。 ・互いに認め合う態度や言葉を示そうとする。	似て言うことができる ・好み、同意、指示等の簡単な英語を言うことができる。 ・身近な英語を使いながら活動することができる。 ・リズムにのってのびのびと歌うことができる。	せずに聞くことができる。 ・身近な英語を聞いてそれが表すものを類推し、それに応じた行動をとることができる。 ・質問や依頼等を聞いて、簡単な英語を用いて応じることができる。
--	--	---	---

(4) 指導方針(本年度の重点実践内容)

児童の実態に適した単元や本時の目標、活動内容、評価の観点の工夫改善

ア 学年の目標に、各種実態調査等で明らかになった児童の傾向、毎時間の観察評価からとらえた実態を照らし合わせ、単元構成の工夫改善を図る。

イ 毎時間の目標や評価の観点をより焦点化し、児童の達成感を高めることができるようにする。

積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度を支える活動形態や環境構成の工夫

ア 目標の達成に向けて、また児童の発達段階を考慮して、活動内容、活動形態の工夫を図る。

イ 児童の自己評価、教師の観察評価を、同一の観点で累積し、次時の指導・援助に生かすことができるようにするため、評価欄を設けたワークシートを活用する。

ウ 活動時における環境構成を工夫することで、児童の積極的な活動参加を支援する。
本時では、授業で児童が使う英語表現を予想し、英語カード等で掲示していくよう配慮することで、既習表現を無理なく想起できる環境を整える。

(5) 具体的実践(4年生)

指導計画

第4学年	題材「連想ゲームをしよう」	指導時期 10月
指導目標	・連想ゲームをしながら、形・色・味・大きさなどを表す表現に親しみ、ものの特徴を伝え合うやりとりを楽しむ。 全4時間	
言語材料	What color(shape) is it? It's red (green/ yellow/ a circle). Is it sweet (sour/ bitter/ hot/ salty/ hard/ soft/ small/ big/ long/ short/ thick/ thin)? Yes, it is. / No, it isn't. I think it's ~. Yes, that's right. Good job. lemon, cherry, kiwi, peach, apple, pineapple, watermelon, strawberry, banana, grapes, orange, melon eggplant, carrot, potato, radish, cucumber, onion, cabbage, pumpkin, green pepper, corn, tomato chocolate, ice cream, candy, rice cake, ham, daughnut, pudding, coffee, mayonnaise, yougurt, sausage	
教材・教具	果物・野菜・その他の食品カードとそれぞれのシール 買い物シート(ゲームで正解し、シールを手に入れたら貼っていく)	

時間	ねらい	主な活動内容	主に扱う言語材料
1	・果物連想ゲームを通して、色・大きさ・味などを尋ねたり答えたりする表現に親しみながら、ものの特徴を伝え合うやりとりを楽しむ。	「果物あてゲーム」 ・相手が持っている果物カードが何かを当てる。	What color(shape) is it? Is it long(big/sweet/sour)? 果物、色、形

2	・野菜連想ゲームを通して、色・大きさ・形・味などを尋ねたり答えたりする表現に親しみながら、ものの特徴を伝え合うやりとりを楽しむ。	「野菜あてゲーム」 ・相手が持っている野菜カードが何かを当てる。	What color (shape) is it? Is it bitter (thick/thin)? 野菜、色、形
3	・食料品連想ゲームを通して、色・大きさ形・味などを尋ねたり答えたりする表現に親しみながら、ものの特徴を伝え合うやりとりを楽しむ。	「食料品あてゲーム」 ・相手が持っている食料品カードが何かを当てる。	What color(shape) is it? Is it hard (soft / bitter / hot / cold/salty)? 食品、色、形
4 本時	・連想ゲームを通して、色・大きさ・形・味などを尋ねたり答えたりする表現に親しみながら、ものの特徴を伝え合うやりとりを楽しむ。	「果物、野菜、食料品あてゲーム」 ・相手が持っているカードが何かを当てる。	What color(shape) is it? Is it big (small/sweet/long/short)? 果物、野菜、食品、色、形

授業の特徴

ア 題材の魅力

これまでも触れたことのある色や形、大きさなどものの特徴を表す表現を駆使し、相手が持っているカードを連想する活動を行う。単元内の各単位時間で扱うカードの活用の仕方をかえながら同じ活動に親しみ、やりとりを通して連想をしばり込む楽しさを繰り返し味わうことができる題材である。

イ 活動形態の工夫

対面型の活動形態をとることで、限られた時間内に次々と相手を見つけてやりとりをしやすいような工夫を行った。スクランブル型での同様の活動よりも相手を探す時間を短縮することができ、言語活動の時間を十分確保できると考えた。

ウ 指導形態の工夫

本時はHRT（学級担任）、JTE（英語担当教員）、ALTの3人で指導に当たった。HRTは指導・援助を必要とする児童と共に活動すること、賞賛・応援の言葉かけをして仲間と楽しく活動することを指導・評価する。JTEやALTは、活動中に自らモデルを示しながら、既習の表現を用いて工夫して表現することを指導・評価することとした。

授業の流れ（4 / 4）

過程	主な活動		評価・指導・援助
	児童	教師（HRT、ALT、JTE）	
1. Greeting	・歌に合わせて楽しくあいさつをする。	・児童にいろいろなあいさつを投げかけながら一緒に楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに対し、教師は動作も交えながら、様々な表現で返し、英語を楽しむ雰囲気を出す。 ・担当グループの児童が進められるよう、言い換えたり、繰り返したりして、児童の理解の手助けをする。 ・スキットでは、本時の活動で使用する表現を繰り返して聞か
2. Song	・"Stroll"を動作をつけて楽しく歌う。	・児童と一緒に歌い、表情豊かに歌っている子を認める。	
3. Kids' Time	・担当のグループが中心になり、ミニゲームを楽しむ。	・担当グループの指導・援助をしながら、ゲームに児童と共に参加する。	
4. ALT's topics	・ALTの国のスーパーマーケットの紹介を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTは自国のスーパーマーケットの様子を写真等を用いながら説明する。 ・HRTやJTEは児童の立場に立って、児童の理解を助ける。 	
5. Activities	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 色・形・味・大きさを質問したり答えたりして、連想ゲームを楽しもう。 </div>		

	<p>H: Hello. H: (コーナーにあるカードから1枚を選んで) I want a green card. H: What color is it? H: Is it a fruit? H: Is it soft? H: Is it sweet? H: I got it! It's a pudding. H: Thank you. (シートにシールをはる)</p>	<p>A: Hello. What do you want? A: O.K. Let's start. A: It's brown. A: No, it isn't. A: Yes, it is. A: Yes, it is. A: Yes, that's right. Good job! Here you are. (シールを渡す)</p>	<p>せることで、どの児童も見通しをもって活動に臨めるようにする。 ・児童のワークシートから活動の進行状況をつかみ、スムーズに活動できていない児童とコーナーと一緒にいき、英語で直接やりとりすることで使用する表現を聞かせ、自信をもって活動に参加できるよう支援する。</p>
<p>6. Comments</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師によるスキットを見たり聞いたりして、本時の活動を知る。 ・チャレンジャーとコーナーにいるアンサーマンに分かれ、活動する。 ・中間コメントを聞き、後半の活動に生かす。 ・役割を交代して、前半と同様に後半の活動を進める。 ・自己評価をする。 ・係の児童や教師による評価を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルスキットを示し、活動の見通しをもつことができるようにする。 ・役割分担をして、児童と一緒に活動をする。 ・ALT や JTE は多様な表現を用いて児童に話しかけ、既習の表現を活用できるようにする。 ・中間コメントでは、様々な質問をして答えを見出そうとしている児童を紹介し、後半の活動への意欲付けを行う。 ・HRT は態度面や学習集団としての高まりを中心に認める。 ・ALT や JTE は既習の表現を用いながら豊かに表現しようとしていた児童を認める。 	<p>相手の質問に分かりやすく答えたり、英語を使って励まし合ったりしながら活動を進めようとしたか。(共に学ぼうとする意欲・態度) 色・形・味・大きさなど食品の特徴を尋ねる質問を英語で表現できたか。 (表現する力)</p>

(6) 実践の検証

授業記録より

- ・ What color is it? (Is it) a fruit or vegetable? (Is it) big or small? と相手のカードを予想するために、多様な質問を発して活動を進めようとする姿が多い。
- ・ 単元を通して同じ活動を繰り返し行ったこと、対面型の学習形態をとったことにより、チャレンジする児童、相手の質問に答える児童という役割が明確で、活動への抵抗感をもつことなく取り組むことができている。
- ・ 特徴を質問された時、I don't know. と答える児童や、相手が持っているカードが分かっても答えを英語で表現できない児童がいたことから、児童の学習経験を考慮した語彙の精選が必要である。

児童のアンケートより

- ・ 全員が「英語活動の時間は楽しい」と答えている。
- ・ 活動の中では、できるだけ多くの子と活動しようとしている。
- ・ 新しく触れた表現を自分で使ってみようとする意欲をもって活動に取り組んでい

る。またその表現の力が自分についたととらえている。

今後の実践の方向

- ・ 児童の発達段階に応じた指導になるよう、活動の質と使わせたい英語表現について検討する。

例) いつ、どのような表現を導入していくとよいのか。

表現活動としては、どの段階で、どの程度求めていくのか。

- ・ 児童の意欲を促し、目標が効果的に達成できる活動形態について検討する。

対面型の活動では、多くの児童が「進んで話しかけられた」という実感している。スクランブル活動も随時取り入れて、自分から求めてよりたくましくコミュニケーションを図ろうとする児童を育てたい。

(7) 中学校における英語教育との関連

小学校における英語活動においては、仲間に積極的にかかわろうとする態度を育成することや、英語を使ってみる体験を楽しみゲーム的な活動を通して積み重ねていくことを大切にしている。その中では、コミュニケーションを円滑に、また豊かにするような表現に多く触れてきた。例えば、対話活動を始める時には、Hello.と言って始めたり、相手の言っていることが理解できた時には、O.K.と言ったり、Good job. Nice try.といった相手を認めたりする表現が挙げられる。これらの表現は、中学校における英語活動の場面でも積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を支えているものである。小学校においても中学校においても、英語を通して他者とよりよくかかわろうとする態度を言語活動を通して育てていきたい。

また、小学校の英語活動においては、正しく表現したり理解したりすることに重点は置かれていない。中学校での英語学習入門期には、楽しい言語活動から正確さを求める学習へと無理なく移行できるように、小学校での言語活動とのつながりを意図して指導することを期待したい。

(8) 資料

本時の掲示 (Today's Aim)



Activitiesの様子（その1）



Activitiesの様子（その2）




環境設定図

単元名	連想ゲームをしよう	本時の位置	4 / 4
-----	-----------	-------	-------

連想ゲームをしよう (タイトル)

Today's Aim

友達のよさ
温かい言葉



絵カード




長机

小黒板

*前半と後半で交代する。
あいている友達のところを
見つけて話しかける。

使用する教具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20種類の食料品・果物・野菜等の写真 (小黒板にヒントとして貼る。) ・ 20種類の食料品・果物・野菜等のカード (机の上に、形を表にして並べる。) ・ ワークシート ・ 食料品・果物・野菜等のステッカー ・ めあて
--------	--